

**広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書**

派遣プログラム	■HUSA □USAC □UMAP
留学先大学	チュービンゲン大学 大学 (国名:ドイツ)
所属学部・学科等名	理学研究科心理学学科
在籍身分	交換留学生
留学期間	2018年10月3日～ 2019年3月21日

### 1. 留学するまで

留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	博士時代の一部として、交換留学をきっかけにドイツで研究ができるのは、非常に貴重な機会だと思っています。今は認知心理学アプローチで日本語教育学の研究を行っていますが、ドイツでより広い視野から認知心理学の研究を続けることは、私の今後の研究に新たな力を注げると思ったからです。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	2か月前
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	ドイツ語検定、(留学目的が研究留学であるため)チュービンゲン大学の教授に留学期間中に指導教員になってくださるようやり取り、保証金の振込、(外国人であるため)ビザの申請、学生寮の申し込み

### 2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類: 留学
	ビザ申請先: 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館
	提出書類: パスポート、ビザの写真、広大の在学証明書、修士課程修了証明書、入学許可書、ドイツ銀行の銀行口座による残高証明書など(ドイツ領事館ホームページに掲載されています)
	手続きに要した日数: 約一か月間
その他必要な事前手続き	なし
出国年月日	2018年10月3日
経路(往路)	大阪関西国際空港⇒北京首都空港⇒フランクフルト空港⇒シュトゥットガルト空港
現地での出迎え	□有(大学関係者・その他) ■無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	■有(期間: セメスターの第1週 内容: 各種手続きなどのアナウンス) □無
帰国年月日	2019年3月21日
経路(復路)	シュトゥットガルト空港⇒パリシャルル・ド・ゴール空港⇒上海浦東国際空港⇒広島空港



留学先での住居全般に関するアドバイス	共同のスペースが多いため、ルームメイトとのコミュニケーションが多い一方、キッチンの掃除の当番なども必要となっています。
(2) 医療について	
保険の加入先	<input type="checkbox"/> 本学指定の保険 <input type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( Techniker Krankenkasse )
保険の補償内容	補償額 死亡 円、 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 (種類: 回数: 医療機関名: ) <input checked="" type="checkbox"/> 無
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	利用したことないのであまり詳しくないですが、予約を取るのは結構難しそうです。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	硬水のため、髪の毛が抜け落ちる恐れがあります。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと	
チュービンゲンの範囲内では特にないです。	
(4) 食生活についてのアドバイス	
食事のカロリーが日本より高いので、カロリーを控えた方がいいと思います。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス	
冬は日本より寒いので、厚めのダウンジャケットが必要です。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む)	
寮と大学においてインターネットがついています。図書館も非常に使いやすいです。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?)	
チュービンゲン大学にはBuddy 制度 (留学生サポート制度) がありますので、留学する前に登録したほうがいいです。チュービンゲンについてからすぐ日本語学科の日本人の先生から連絡が来ますが、懇親会や読書会、会話の補助のお願いなど、日本人留学生との繋がりができるし、会話パートナーも見つけられるので、ぜひ参加したほうがいいと思います。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
レストランではお冷やお茶を出してもらえないですが、飲み物を注文しないと必ず聞かれます。また、チップを払うのが礼儀です。	
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの	
現地でも買い物か結構便利です、アジアショップもありますので、特にないと思います。	
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス	
チュービンゲンと近くの町に日本料理店があり、アルバイトも見つけやすいです。	

## 6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	2021年3月 (当初の卒業予定年月 2021年3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )
現在の状況および今後の予定・進路等	来学期にドクター二年生になります。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	特になし。

## 7. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等

書籍, サイト名	詳細(出版社, URL等)	コメント
特になし		

## 8. 後輩へのメッセージ

私は2018年10月から2019年の3月まで約1セメスターチュービンゲン大学の理学研究科心理学学科で交換留学生として留学しました。今回の留学は、研究留学という目的でした。そのため、留学する前に、留学先の教授とやり取りをし、入学許可を得ることが必要です。

## 9. 自由記述 (1,200 字程度)

元々留学生である私が、今回は HUSA プログラムを通して、交換留学という貴重な機会を頂き、本当にいろいろ良い勉強になりました。

学部生時代に台湾に交換留学し、修士時代に HUSA ショートプログラムによりロシアに短期留学した経験もありましたが、留学体験を通して世界の見方が変わるといよく聞く話のように、今回の留学を通して、自分の考え方や人との接し方に変わったことはもちろんたくさんあります。様々な国の人と出会えて、いろいろな文化的ショックを受けたことが、すごく楽しかったです。特に、ヨーロッパの多様性を受け入れる自由な雰囲気を経験できたのが、私にとって非常に価値のあることでした。また、ヨーロッパの日本と違った試験制度が、私にとって非常に新鮮でした。授業の登録と試験の登録が別々であり、受講していたとしても、試験に参加できるという準備ができていないと、試験に参加できず、単位がもらえないのは、すごく厳しいと思って、私にとっていい刺激でした。

また、この前の留学とは一番違ったのは、今回の留学は、私の将来の研究に新たな力を注ぎ込んだことだと思っています。今回の留学は、研究留学という目的でした。そのため、留学する前に、留学先の教授とやり取りをし、入学許可を得ることが必要です。留学中、リサーチグループに入り、研究に集中することができました。また、日本とは異なった学習・研究文化を経験することができ、いい刺激をたくさん受けました。国際ワークショップなどに参加することを通して、自分のあまり詳しくなかった研究分野に触れることができ、海外の有名研究者と話す機会も得られました。留学中のリサーチグループにいる間に、実験を一つやりました。指導教員やリサーチグループのメンバーたちからたくさん助けられました。私自身も、この研究をすることで、研究の面白さと楽しみを満喫しました。また、自分の博論のテーマについても、いいアイデアが得られました。研究について、目の前で知らなかった世界が広がって、「もっと知りたい」と強く思い、これからも前向きな姿勢で、情熱高く研究の道を歩み続けたいと思いました。

今回の交換留学では多くの学術的成果を残すことができ、私も日本に帰ってきたらもうすぐ博士後期課程 2 年生になります。留学中の指導教員とも連絡を取り合い、今後の研究課題について、ご意見やアドバイスを頂きます。今回の留学で積んだ貴重な経験を今後の研究・生活に活用し、社会に自分なりの貢献ができる人間になれるように頑張っていきます。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。